



さわら

人口 211,640人
男 100,346人 女 111,294人

世帯数 90,616世帯
(平成20年9月1日現在推計)

早良区役所電話番号案内
TEL 841-2131
〒814-8501 早良区百道二丁目1-1
<http://www.city.fukuoka.lg.jp/sawara/>
入部出張所
TEL 804-2011
〒811-1102 早良区東入部二丁目14-8

毎月1日号は参加募集やお知らせ記事を中心に、15日号は取材記事を中心に掲載しています。

期=日時 所=場所 対=対象 定=定員 料=料金、費用 持=持参 託=託児 問=問合せ ☎=電話番号 F=ファクス 申=申込み 開=開館時間 休=休館日



楽しくふれあう鶴田さん(左)とボランティア

一人暮らしの高齢者などが公民館や集会所に集い、地域のボランティアとともに楽しく過ごす「ふれあいサロン」が区内の43か所で開かれています。

脇山公民館で月1回開いているふれあいサロン「しやくなげ会」は、ボランティア18人で運営。参加者のほとんどが一人暮らしの高齢者で、9月22日には、一緒にリフレッシュ体操や折り紙などをして過ごしました。

人生の先輩に大切なこと学べる場

「ここにきているのがいつも楽しみ。脇山に住んでよかった」と、参加者の鶴田守成さん(83)は目を細めます。

5年前からサロンにかかわっている馬木明代さん(45)は「高齢者と接する中で、物を大事にすることや、人とうまく付き合うことなどが自然と身に付き、家庭で子どもにも伝えていきます」と笑顔で話していました。

ボランティアQ&A

Q どんな活動をするの?
A 今回紹介した高齢者福祉、防災、清掃活動のほか、子ども育成、緑化、防犯、催しの企画、観光案内など、活動のチャンスは数多くあります。

Q 大変そう。長続きできるかしら?
A 活動の頻度や場所など、自分が無理なく活動できる範囲を決めておけば、気負わず続けられるようです。

Q やってみたいけど、どうしたらいいの?
A 「市NPO・ボランティア交流センターあすみん(☎724-4801 F724-4901)」では、ボランティアに関する相談に随時対応。11月16日(日)には、さまざまな団体の活動を紹介します「あすみん祭り」を開催します。

福祉活動に関しては「区ボランティアセンター(☎832-7383 F832-7382)」の活用を。11月29日(土)には「ボランティア入門講座」を開催します。



気軽に始めよう ボランティア

「ボランティア」という言葉を聞いて、「忙しい自分には縁がない」と考える人がいるかもしれません。ボランティア活動には決められた形はなく、誰もが自分のペースで参加できます。区内でも多くの団体が活動しており、その一部を紹介いたします。皆さんも活動の第一歩を踏み出してみませんか。

高齢者が地域で楽しく交流

ふれあいサロン しやくなげ会



災害図上訓練(DIG)を行う参加者と竹下さん(左)

リサイクル活動に学生らが活躍

NPO法人 GREEN'S

「NPO(特定非営利活動)法人GREEN'S」は、市内の大学生とコーディネート役の社会人で構成された約80人の団体です。

地域で古紙や空き缶を回収する手伝いなどのリサイクル活動、放課後の児童の



力を合わせてきれいな街に。前列右端が加藤さん

若さと行動力で活動広がる

代表の加藤幸之助さんは、「地域のニーズが高まるとともに、やりがいや責任感を感じています」。若さと行動力が持ち味のメンバーは、盛んに活動している様子でした。

災害に強いまちを目指す

博多あん・あんリーダー会

「博多あん(安全)・あん(安心)リーダー会」は、防災に関する住民の知識や技術を高める活動を行うボランティア団体です。

同会のメンバーは、地域防災の担い手を養成する講座「博多あん・あん塾(市・読売新聞西部本社共催)」を修了した143人の防災士で構成されています。9月21日には、区内に住むメンバーら25人が、早良校区で行

同じ思いの仲間と楽しみながら

「この日、進行役を務めた竹下裕一さん(37)は、「災害に強いまちづくりを目指して活動しています。仕事をしながら活動を続けられるのは、同じ目標を持つ仲間がいるからです」とさわやかに話していました。

わかれた「防災セミナー」のサポーターとして出向き、「地域の防災力とコミュニケーション力です」と力強く訴えていました。

10/26(日) 第6回 木の葉祭

過疎化が進む板屋地区の活性化を図るため、知的障がい者更生施設「板屋学園」と、背振少年自然の家などが開催。10月26日(日)午前10時～午後4時(雨天決行) 所背振少年自然の家 料無料 木の葉祭事務局(板屋学園 ☎804-7677 F804-7678) 【内容】コンサート、パネル展示、野菜や農産加工品の販売、山歩き・樹木調べ、クラフト教室、抽選会など【送迎】脇山小学校バス停前と西鉄那珂川営業所前(各駐車場あり)から無料シャトルバスを運行。

在宅介護者のつらい バスハイク

よりよい介護を続けるために日帰り旅行でリフレッシュしませんか。11月26日(水)午前10時～午後4時 所天拝の郷(筑紫野市、集合解散は区役所) 区内に住み、要支援以上の家族を自宅で介護している人 先着15人 料1,500円 区社会福祉協議会(☎832-7383 F832-7382) 電話かファクス、はがき(〒814-0006百道一丁目1-1UMIBEビル1階)に住所、氏名(ふりがな)、電話番号、年齢、要介護者との間柄、要介護者の年齢と要介護状態区分、過去の参加の有無を書いて11月7日(金)までに同会へ。

転ばない体づくり教室

運動や栄養などについて学びます。11月6日(水)、13日(水)、27日(水)、12月25日(水)、平成21年1月22日(水)の午前10時～正午、全5回 所早良保健所 主治医から運動について制限を受けていない65歳以上で、全回出席できる人 定先着30人 料無料 簡易きやすい服装、飲み物、タオル 区地域保健福祉課(☎833-4363 F846-8428) 10月15日(水)から電話かファクスで同課へ。

市民企画講座 これであなかも「食」名人

下表のとおり、午後7時～9時(12月7日は午後1時半～4時半)全5回 所早良市民センターほか 市内に住むか通勤・通学し、全回出席できる人 抽選で40人 料1,000円 6か月～就学前 区地域振興課(☎833-4412 F831-2355) 電話かはがき(〒814-0006百道二丁目2-1)、ファクス、メール(t-shinko.SW0@city.fukuoka.lg.jp)に住所、氏名、年齢、性別、電話番号、託児の有無を書いて10月31日(金)(必着)までに同課へ。

日程	内容
11/14(金)	健康で安全な食生活とは
11/21(金)	食べ残しの実態と生ごみ処理
11/28(金)	地産地消、伝統料理のレシピ
12/7(日)	地元食材を使った調理実習
12/12(金)	学びのまとめと今後の展望

歴史のソムリエ



第五話 西新のクジラ売り

西新に、リヤカーのクジラ売りがいました。このクジラ売りがいつごろ始まったのか、今から20年ほど前に聞き取りをしたことがあります。

「戦後はひどく食糧難で、今みたいに一家に一台自動車があるわけでもなかり。そこで、「こつつい自転車荷台にリヤカーをくくりつけ、近



塩クジラは乾物と一緒に今も売られています

く農村や漁村から西新商店街の道の真ん中に、リヤカーで特産品を売りにきよったとよ。

西新の近く、姪浜や鳥飼には昭和30年代まで炭鉱がありました。石炭掘りは、汗びっしょりになってきつかり仕事。やけん、弁当のおかずは塩クジラが一番よかったです。つまり、塩分とタンパク質の補給に

リヤカーのクジラは連日、炭坑作業員はもちろん、遠方からもなじみ客がやって来て買い求められました。そのため、いつの日からか「リヤカーのクジラ売り」と呼ばれるようになったそうです。(博物館学芸員 鳥東京)

最適だったというのです。「ねーちゃん、クジラはなかね?」「あるよー、塩クジラやけど。」というやりとりのあと、「赤肉1斤(600g)、脂身半斤(300g)」という具合に、量り売りされていました。炭坑作業員がひっきりなしに買いに来たといえます。

10月31日は市県民税第3期の納期限です

遅れないように納付しましょう。市税の納付は便利な口座振替にしませんか。

区納税課(☎833-4316 F841-2185)